

2025 4/22・5/13合併号

No.2233・2234

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



半世紀にわたり県民の文化芸術活動の拠点として親しまれた県立県民ホール（横浜市中区）が建て替えのため休館。現ホールでの最終営業日を3月末に迎え、フィナーレコンサートなどが行われた。



政経かながわ

2025 4/22・5/13合併号
No.2233・2234

contents

視点点描	3
気になる米挑戦の3投手	
特集	4
強まる女性の教職離れ 受験者6→4割に減少 「働きやすい職場」が変容 男性的環境の改善急務	
特集	8
ミャンマー国境「無法地帯」 流入した中国系犯罪組織	
政治双眼鏡	12
続くか、国民民主の勢い 「若年層」だけでは玉木路線行き詰まる	
よんななエコノミー	13
地方で加速する結婚の減少	
サヘル・ローズ×リアルワールド	14
「見えない存在」に目を向けよう	
馬場典子のNEWS箸休め	15
ユニークな福利厚生あれこれ	
くらし2025	16
加熱式たばこにも高血圧リスク 3万人の健診データ分析	
神奈川景気データファイル	18

事務局だより

◇2025年5月定例講演会
5月7日(水)午後1時30分～3時
メルヴェーユ(桜木町・県民共済プラザビル内)
講師：有隣堂代表取締役社長・松信 健太郎氏
演題：出版業界の現状と書店の未来

◇2025年6月定例講演会
6月19日(木)午後1時50分～3時
ロイヤルホールヨコハマ
(中区山下町)
講師：ライター・コラムニスト 稲田 豊史氏
演題：タイバ化する世の中 ～倍速視聴から考えるZ世代のトリセツ
※1時30分から同会場で当会決算総会を開催する予定です。

◇2025年7月定例講演会
7月15日(火)午後1時30分～3時
県民共済みらいホール(桜木町・県民共済プラザビル内)
講師：横浜国立大学 台風科学技術研究センター長 筆保 弘徳氏

【お知らせ】2024年度決算総会は6月19日(木)午後1時30分から、ロイヤルホールヨコハマで開催予定です。総会後に6月定例講演会を開催します。

視点 点描



気になる米挑戦の3投手

3月に日本で開幕した2025年の米大リーグ。ドジャースの大谷翔平投手や佐々木朗希投手と比べると注目度は低いかもしいれないが、神奈川から今季メジャーに挑戦した3投手がやはり気になる。巨人からオリオールズ入りした菅野智之投手（相模原市南区出身）は4月上旬に大リーグ初勝利を飾った。35歳5カ月での初勝利は

日本人の先発投手では最年長というオリールドルーキーは「1勝を目標に來ていない。チームの優勝だけが目標」と語ったという。それを聞いて思い出したのは、エリート街道を歩んできたように見えて、実は日本一とは無縁という菅野投手の意外な球歴だ。原辰徳さんの甥っ子として最初に注目された東海大相模高時代

は、甲子園常連校にしながら一度も出場を果たせなかった。リーグ戦通算37勝4敗とほぼ無双状態だった東海大時代も、日本一を懸けた大学選手権、明治神宮大会はいずれも準優勝に終わった。

最多勝と最優秀防御率にそれぞれ4度輝いた巨人時代は5度もリーグ制覇し、日本シリーズに3度出場しているが、なぜか日本一には届かなかった。日本一とは関係ないが、2017年に侍ジャパ

ンのエースとして臨んだ第4回WBCも世界の4強止まりだった。投手としての栄誉は誰よりも手に入れただけに、今はチームの勝利に飢えているのだろう。同じく巨人のエースから34歳でオリオールズでメジャーデビューし、レック

ドソックスの守護神として日本人初のワールドシリーズ胴上げ投手となった上原浩治さんのように、世界の頂点で輝けるか。

菅野投手の後輩で、東海大相模高で夏の甲子園を制覇している小笠原慎之介投手（藤沢市出身）は、中日からナショナルズ入りしたが、オープン戦で結果を残せず、開幕をマイナーリーグで迎えた。高校時代からメジャーの夢を公言し、多くのことを有言実行してきた27歳のサウスポールの巻き返しを楽しみにしている。

青柳晃洋投手（横浜市鶴見区出身）は県立川崎工科高で腕を磨き、帝京大を経てドラフト下位指名で入団した阪神で2度の最多勝をつかんだ苦勞人。今はフリーリズ傘下のマイナーで、メジャー昇格を果たそうと必死にプレーしている。無名のサイドスロー右腕が阪神のエースに上り詰めたように、31歳で再び野球ファンを驚かせてほしい。

（神奈川新聞社運動部長

兼映像編集部長・真野 大樹）